教育旅行特集

アクティブ・ラーニング型 教育旅行を支援

～NTTラーニングシステムズ～

旅行先での学習活動が充実

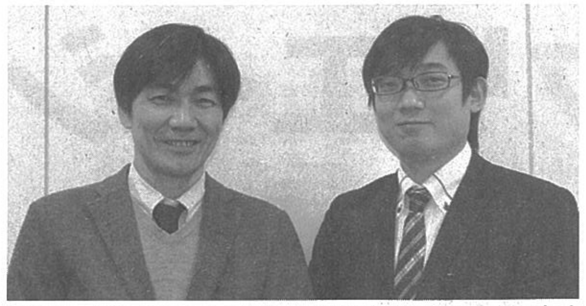
博物館や名所が学習活動の場に

タブレット端末などを活用したアクティブ・ラーニングにより、修学旅行の教育効果をさらに高めようという動きが学校現場で広がっている。

NTTラーニングシステムズ株式会社では、新たな教育旅行ニーズに対応するため、必要な機器と学習プログラムをセットにしたサービスを提供している。

印刷物の文字列を読み取ってデジタル情報を表示するシステムや、タブレットへの書き込みをリアルタイムで共有できるアプリを活用し、班別自由行動の周遊先を舞台にしたオリエンテーリング型の学習活動に取り組むというものだ。

「施設や展示物をたんに見るのではなく、課題意識を持って考えながら見学できることがこのプログラムの特徴」と同社西日本事業部の北田薫・教育ICT活用コーディネーターは説明する。事前の調べ学習などに加え、「現地での学習活動の充実を図ることで、生きた教育旅行が実現します」と話す。


NTTラーニングシステムズ西日本事業部 北田薫氏と森長隆氏

広島県尾道市立向東中学校では、2015年の東京での修学旅行で、同社のサービスを利用したオリエンテーリングを実施した。

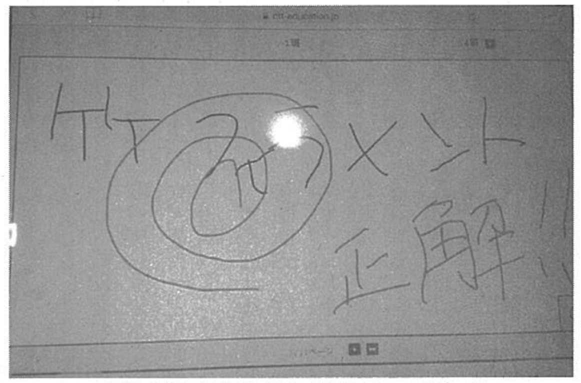
生徒たちは5～6人の班に1台ずつのタブレット端末と、校長から手渡された封筒を持って宿泊先を出発。封筒には「国立科学博物館のパンフレットの一部をタブレットのカメラで撮影する」などの指示が入っている。パンフレットの指定箇所を撮影すると、「エジソン電球に使われているフィラメントの材質は?」といった課題が提示される。

生徒たちは館内でエジソン電球の展示を探し、解説文を読んで見つけた答えをタブレットで送信する。宿泊先ホテルの教員用タブレットでは、各班の回答をリアルタイムで確認可能。「正解」「もう一度探そう」など教員のフィードバックも即座に受けられるので、クイズ感覚でテンポよく活動が進められる。

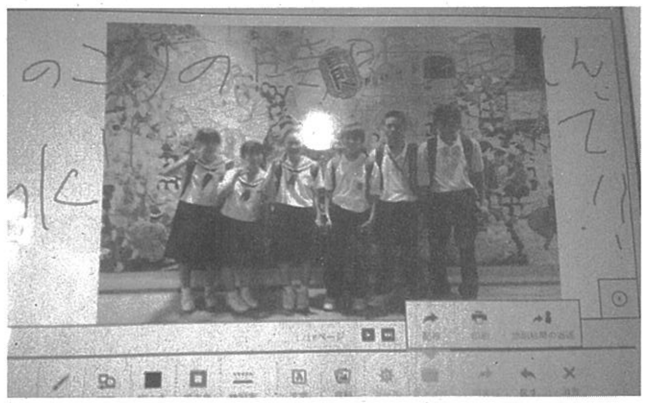
能動的な学びで記憶の定着図る

出題される課題は、同社のアクティブ・ラーニングのノウハウを盛り込んだもの。「上野公園内にある擂鉢山古墳の高さは?」「西郷隆盛は何県何村の出身?」など、答えが容易にわからず（現地で探せば必ず見つかる）、意外性や気づきがあり、その後の学習につながるといった要件を満たす内容になっている。中には、「班全員が写った記念写真を送信する」といった課題も。近くの人に声をかけて撮影してもらうことでコミュニケーション能力を培う。

班ごとに異なる4問程度の課題に取り組む2～3時間のプログラムで、終了後は自由行動とした。同校では活動の成果について、生徒たちが楽しみながら能動的に学べたことに加え、タブレット端末の活用イメージを掴むなど、教員側にも新たな気づきがあったとしている。



生徒からの回答と先生からのフィードバック


班全員が映った記念写真を撮影する課題

同社では現在、必要なアプリを組み込んだ端末の貸与、機器操作などを学ぶ事前ガイダンス、東京・京都エリアでの学習プログラムを基本サービスとして提供中。学校側のニーズに応じた他の地域の課題作成にも別途対応する。

北田氏は、「グループで楽しみながら取り組んだ記憶が定着し、次の学習に興味関心を持つきっかけになる。そうしたアクティブ・ラーニングの効果を、教育旅行の場で多くの子どもたちと先生方に実感してもらえれば」と話している。

■問い合わせ＝NTTラーニングシステムズ西日本事業部 電話06・6358・2787 メール＝edu@nttls.co.jp

今、もっとも注目される教育旅行先 「広島・瀬戸内海・松山新定番ルート」

～多彩なテーマ別体験交流メニューが充実～

平和学習や世界遺産学習の地である広島と愛媛・松山を結ぶエリアは、島々が織りなす風光明媚な風景と歴史・文化・産業など多様な資源の宝庫。

こうした瀬戸内海の魅力を最大限に引き出しながら、松山・道後やしまなみ海道などを組み合わせた教育旅行が注目を集めている。

ある学校の生徒アンケートでは満足度98・9%をはじき出した広島・瀬戸内海・松山ルート。松山市は、教育的視点から地域の資源を磨き上げた、多様なテーマ別の体験メニューを提供している。

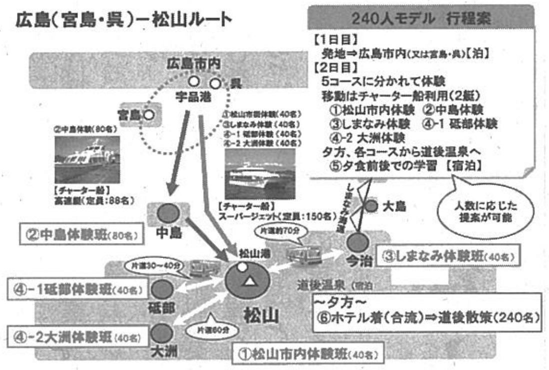
広島からはチャーター船の利用で1時間ほど。移動がスムーズな上、瀬戸内海クルーズという貴重な体験メニューになる。晴天率も高く運航率はほぼ100%と計画も立てやすい。

ミシュランガイド三ツ星施設の道後温泉があるエリアでは、夕食時に会席料理のマナー研修や、夕食後の商店街散策中の俳句イベントや人力車の体験など、時間を有効活用できると好評だ。

今年、夏目漱石・正岡子規生誕150年や愛媛国体開催を迎え、9月には、道後に新たな温泉施設も誕生する松山市では、俳句吟行体験や坂の上の雲ミュージアムレターなど松山ならではの体験に加え、松山を訪れた修学旅行生を観光大使に任命する「瀬戸内・松山観光アンバサダー」制度が好評。希望に応じて修学旅行に参加した生徒全員を大使に任命し、修学旅行の思い出や観光名所の写真などをSNSなどで情報発信してもらう。任命期間は20年間で、その間は松山城や道後温泉等の市の施設を無料で利用できる。

ますます注目が集まる瀬戸内・松山へのコースづくりは、企画段階からサポートしてくれる松山市へ。

■問い合わせ＝松山市観光・国際交流課 修学旅行担当 電話089・948・6558 URL http://www.oidenkamatsuyama.com/



広島・松山間には定期船も運行されているが、チャーター船を利用しスムーズに移動することで、自由度の高いコース設定や充実した体験が可能だ

瀬戸内・松山観光アンバサダー（大使）の記念証（イメージ）。希望に応じて修学旅行生を観光大使に任命。期間は20年、特典は道後温泉本館など無料

夕食後の道後商店街での散策は、俳句イベントや特別料金での人力車など、まちの人からのおもてなしが満載

「飛騨高山」の自然… 文化を体験活動…

自然とと… 「人」との…

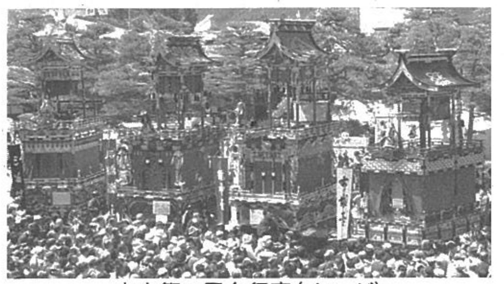
岐阜県

城下町・商家町が残り、先人のもたらした伝統文化が今に息づく岐阜県高山市では、約9割が森林という豊富な地域資源を活かしたグリーン・ツーリズム（農山村体験型観光）に取り組んでいる。教育旅行では、農業や自然、生活文化、食文化、環境活動など70種類以上に及ぶ体験メニューを用意。農家民宿に泊まりながら地元の人たちとふれあい、自然とともに生きる知恵を学ぶ機会を提供している。

なかでも好評なのが、農村での田植えや稲刈
文化をセットで体
ログラムだ。「今は
行けばどんな食材
ますが、食べ物が
程や苦労を知る子
い。たとえば郷土
や保存食の朴葉寿
び、それを口にす
農作業だけでなく
食文化の流れを一
とができます」と
さと体験飛騨高山
事務局長。そこに
地域の人々が厳し
もたらす自然と、
してきたか身をも
ほしいという思い
ている。

ユネスコ登録な 注目高まる

北陸新幹線が開
の金沢駅から約2
クセスも良い。さ


高山祭の屋台行事（イメージ）

東京・昭和館が特別企画展 ポスターに描かれ…

～髙橋春人… デザイン…

東京・千代田区の昭和館は、国民が経験した戦中・戦後の国民生活に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、労苦を次世代に伝える国立の施設。昭和10年ごろから30年ごろまでの国民生活を伝える実物資料、当時の写真や映像、音響資料を閲覧できる。

この春、戦中・戦後に多くの公共ポスターを手掛けた、髙橋春人（たかはしはると）をテーマにした特別企画展「ポスターに描かれた昭和～髙橋春人の仕事～」を開催する。

髙橋は黎明期の
ザインの第一人者
れ、昭和39年（1
東京パラリンピッ
致ポスターのデザ
するなど活躍した。
昭和館には遺族
ー等160点が寄
り、同展ではその
ンを中心に、写真
をあわせて紹介し
40年代に至る髙橋
どる。
期間中は①ポン
芸、ちんどん屋な